国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan

プレスリリース第２弾

ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベント

『日本の娘』［デジタル復元版］特別上映会 詳細決定！

お世話になっております。国立映画アーカイブでは、本年のユネスコ「世界視聴覚遺産の日」（10 月 27 日）記念特別イベントとして、**日メコン交流年 2019 と来年のミャンマー映画生誕 100 年を祝し、日本とミャンマー（当時ビルマ）初の合作映画『日本の娘』（1935 年、監督：ニープ、共同監督：枝正義郎 他）のデジタル復元版プレミア上映とトークイベントを開催します。**本国では失われていた本作がデジタル復元で甦り、３月には里帰り上映会も開催される予定です。**映画遺産とともに両国の文化や歴史を改めて顧みる本イベントに、**周知へのご協力をお願いいたします。

ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベント 『日本の娘』[デジタル復元版]特別上映会

2019 年 10 月 26 日（土）12:00pm-、4:00pm- ＊12:00pm の回は上映前に約 15 分程来賓挨拶あり。一部関係者席となります。

1:50pm-トークイベント「『日本の娘』―映画遺産の救済と保存にむけて」（仮）（60 分） ＊逐次通訳付き、入場無料。

登壇者：テイン・トゥットThein Htut（俳優／監督、A1 Film Company）、オッカー Okkar（Save Myanmar Film プロジェクトディレクター）

主催：文化庁、国立映画アーカイブ

会場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール ＯＺＵ（２階）

定員：310 名（入替制・全席自由席）

料金：[前売券・当日券] 一般 520 円／高校・大学生・シニア 310 円／小・中学生 100 円

[当日券] 障害者（付添者は原則１名まで）・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

HP:https://www.nfaj.go.jp/exhibition/unesco2019/

『日本の娘』[デジタル復元版] *The Daughter of Japan* [Digitally Restored Version]

（88 分＊冒頭の復元デモを含む・2K DCP・白黒）日本語字幕付き

ビルマ人飛行士の兄弟（ニープ、ティンペー）が東京－ラングーン(現ヤンゴン)間のノンストップ飛行に挑むために来日。兄は日本人の恵美子(高尾光子)と恋におち、飛行計画と兄弟の仲にも暗雲がたれこめる…。

「ミャンマー映画の父」とも呼ばれるニープの監督・主演作。ニープ兄弟は 1935 年 6 月 10 日にビルマ初の観光団として、後にビルマ首相となる団長・ウーソーらと 6 名で来日。日本紹介を目的とした本作は、P.C.L.の提携で 9 月 11 日に本読み開始、東京羽田飛行場、目黒雅叙園、自動車競走大会、芦ノ湖など当時の貴重なロケ映像を豊富に収めて 10 月に完成、本国で公開され人気を博した（日本未公開）。本作は 1992 年にプリントが当館で発見された後、“にっぽんむすめ”の題で上映されてきたが、今回のデジタル復元で初めて、映像の細部と音声が製作当時の題名とともに鮮やかに甦る。

1935（A1 Film Company）（監督）ニープ（共同監督）枝正義郎 他（撮影）川谷庄平（録音）市川綱二（出演）ニープ、高尾光子、ティンペー、サンニュン

復元前

復元後

デジタル復元：国立映画アーカイブ所蔵の 35 ㎜デュープネガからデジタル化、2K 解像度での画像修復、グレーディング、音声のノイズ除去、日本語字幕制作などを行い、デジタルソースマスターおよび DCP を作成。

復元：令和元年度美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業 国立映画アーカイブ／デジタル修復：（株）IMAGICA Lab.

【本件に関する取材・お問い合わせ】国立映画アーカイブ『日本の娘』広報担当（冨田・吉田）
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6 電話：03-3561-0823／FAX：03-3561-0830／E-mail：doj@nfaj.go.jp